

オンライン同時配信

総合地球環境学研究所 創立20周年

記念式典・シンポジウム 第1部



人新世における 総合地球環境学 の未来

2021年4月23日(金)

13:00-13:30 記念式典
(受付・開場 12:30)

13:30-16:30 記念シンポジウム 第1部

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

現代は、人類の活動が地球の隅々に影響を及ぼす新しい地質年代、「人新世(あるいは人類世)」であるともいわれています。そうした中、地球研は「人と自然はどういう関係を築き上げるべきか」を様々な角度から考えながら20周年を迎えました。学問の枠を飛び越え、文系・理系を問わず様々な研究者がともに知恵を出し合い、広く社会の皆さんとも協力しながら研究活動を進め、この20年間で37のプロジェクトが研究を終了し、現在7つのプロジェクトが進行しています。大学共同利用機関として迎えた国内外の共同研究員数は3,800人にのぼります。

今回のシンポジウムでは、3つの終了プロジェクトを例にとり地球研の歩みを振り返るとともに、共同利用研究例や現在地球研で進む研究プロジェクト例をご紹介します。総合地球環境学の構築をめざす今後の地球研の進むべき方向を議論します。

※記念シンポジウム第1部は主に研究者向けの内容となります。



会場
京都府立 京都学・歴史館
1F 大ホール
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29
※会場でご参加は招待状をお持ちの方のみにとなります。

参加無料
要申込



詳しくはWEB特設サイトをご覧ください。
<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/20th/>

創立20周年記念式典

総司会: 岡田 小枝子(総合地球環境学研究所 准教授)

開会挨拶

山極 壽一(総合地球環境学研究所 第四代所長 ※2021年4月1日着任)

式辞・祝辞

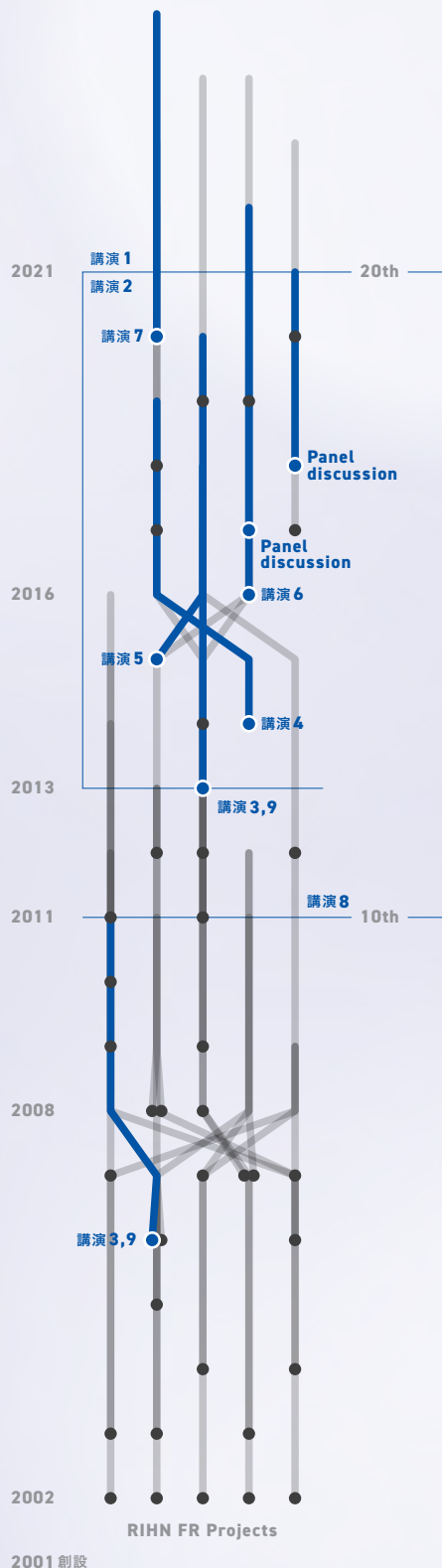
平川 南(大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 機構長)

杉野 剛(文部科学省 研究振興局 局長)

西脇 隆俊(京都府 知事)

門川 大作(京都市 市長)

ファンデルー サンデル エルンスト(Sander Van Der Leeuw、総合地球環境学研究所 名誉フェロー)



創立20周年記念シンポジウム 第1部 人新世における総合地球環境学の未来

総合司会：岡田 小枝子（総合地球環境学研究所 准教授）

セッション1 地球環境問題をめぐる 学術の動向

このセッションでは、日本学術会議前会長である山極壽一地球研第四代所長が、国内外の学術研究の動向を背景に、地球環境問題を読み解く地球研の目指すべき方向を示唆するとともに、安成哲三地球研第三代所長が、Future Earthアジア地域センターなども運営してきたこれまでの地球研の取り組みをベースに、ポスト人新世における未来可能性を語ります。

講演1 地球環境問題を文化の問題として読み解く

山極 壽一（総合地球環境学研究所 第四代所長 ※2021年4月1日着任）

講演2 ポスト人新世における自然・文化共生系のあり方を考える

安成 哲三（総合地球環境学研究所 第三代所長）

セッション2 地球研の挑戦と その歩み

2001年に創設された地球研は、プログラム-プロジェクト制のもと、文理融合と超学際研究を標榜して独自の研究活動を展開してきました。本セッションでは、その20年の研究活動の歩みを概観するとともに、これまでに終了したプロジェクト3例および現在地球研で進行中のプロジェクト1例について、どのような研究活動を展開してきたのか、展開しているのか、地球研の歩みとどう関わってきたかという観点も交えてご紹介し、さらに、大学共同利用機関としてどのように大学の研究に貢献してきたか、その一例を共同利用者からご紹介いただきます。

講演3 地球研のこれまでの20年：我々はどこまでできたのか

谷口 真人（総合地球環境学研究所 副所長）

2017年度終了プロジェクト「アジア環太平洋地域の人間環境安全保障—水・エネルギー・食料連環」プロジェクトリーダー（2013–2015年度）
2010年度終了プロジェクト「都市の地下環境に残る人間活動の影響」プロジェクトリーダー

講演4 歴史研究における文理融合の実践的課題

中塚 武（名古屋大学大学院環境学研究科 教授）

2018年度終了プロジェクト「高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索」プロジェクトリーダー

講演5 地球研とともに歩んだ20年：生態学はいかに貢献できたか

奥田 昇（神戸大学内海域環境教育研究センター 教授）

2019年度終了プロジェクト「生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会—生態システムの健全性」プロジェクトリーダー

講演6 みんなで作った「いただきます」：FEASTプロジェクトの物語

スティーブン・マックグリービー（Steven R. McGreevy, 総合地球環境学研究所 准教授）

2020年度終了プロジェクト「持続可能な食の消費と生産を実現するライフワールドの構築—食農体系の転換にむけて」プロジェクトリーダー

講演7 インドに青空を～Aakashプロジェクト～

林田 佐智子（総合地球環境学研究所 教授／奈良女子大学研究院 教授）

2024年度終了予定プロジェクト「大気浄化、公衆衛生および持続可能な農業を目指す学際研究：北インドの藁焼きの事例」プロジェクトリーダー

講演8 同位体環境学の10年と地球研共同利用研究の可能性

竹内 望（千葉大学理学研究院 教授）

セッション3 総合地球環境学の 確立と発展を目指して

これまで積み重ね、現在も精力的に続ける研究活動を足掛かりに、私たちは総合地球環境学を確立し発展させることにより、地球環境問題の解決に挑み続けます。地球研の将来に向けてどのような枠組みが計画されているかをご紹介しますとともに、地球環境問題を担う外部の若手の研究者も交え、人類と地球の未来可能性を担う総合地球環境学そして地球研の今後の展望を考えます。

講演9 地球研のこれから：我々はどこへ向かうのか

谷口 真人

パネルディスカッション

司会：近藤 康久（総合地球環境学研究所 准教授）

2020年度終了プロジェクト「環境社会課題のオープンチームサイエンスにおける情報非対称性の軽減」プロジェクトリーダー

登壇者：山極 壽一

林田 佐智子

浅利 美鈴（京都大学大学院地球環境学堂 准教授）

中尾 世治（総合地球環境学研究所 特任助教）

2021年度終了予定プロジェクト「サニテーション価値連鎖の提案—地域のヒトによりそうサニテーションのデザイナー—」サブリダー



連日開催
創立20周年記念シンポジウム 第2部
**人新世を生きる
私たちと
地球の未来可能性**
詳細はコチラ
2021年4月24日(土)
13:00-16:00

